

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	家庭教育事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	06	05	07
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	子育て中の保護者	意図	小中学校、地域との連携により、家庭教育に関する学習機会を提供。
事業内容	市内各小中学校及びPTAとの協働による「家庭教育講座」を開設するほか、子どもの健全な成長を支援する講座や講演会、子育て中の親が子連れで生の音楽を楽しめるコンサートなどを広く実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	近年、薬物やネット犯罪の被害が低年齢化し、子どもによる凶悪な犯罪も増加傾向にある。子どもの健全な成長を支援するために、家庭、学校、地域の連携が求められる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	講座開催回数	219	228	137	回	→→	「家庭教育講座」や「子育てママのセミナー」など
②	講座受講者数	10839	11682	8542	人	→→	「家庭教育講座」や「子育てママのセミナー」など	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果		年2回実施している子育てコンサートは、親子などから高い評価を受けている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度	・市内各小中学校及びPTAとの協働により、親のあり方や成長期の子どものかかわり方、ケータイ・スマホとの付き合い方、命の大切さ等をテーマとした「家庭教育講座」を、各学校あるいは地域別に実施した。 ・乳幼児期の家庭教育では、「子育てコンサート」を年2回実施。 また、0歳児とその母親を対象として「子育てママのセミナー」を各公民館等で1会場各3回実施。（市内6会場）			
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,576,208	7,034,387	6,962,460				
事業費(b)(円)		608,408	728,787	845,660				
うち一般財源		608,408	728,787	845,660				
職員給与費(c)(円)		8,967,800	6,305,600	6,116,800				
人役・職員(人)		0.90	0.60	0.50				
人役・再任用(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・臨職(人)		1.50	1.50	2.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	「家庭教育講座」をより効果的なものにするため、各校のニーズに合った内容で実施するよう、学校、PTAと連携をしながら進めていく。	③取組の課題	「家庭教育講座」は、参加者が限定しがちである。
②今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、PTAとの協働による「家庭教育講座」を、学校単独、地区合同等により、計25回実施した。 ・0歳児を持つ保護者を対象に「子育てママのセミナー」を市内6会場で実施。 	④今後(H30以降)の改善計画	「家庭教育講座」をより効果的なものにするため、各校のニーズに合った内容で実施するよう、学校、PTAと連携をしながら進めていく。